

---

# **ノンカピスコ・懺悔の値打ちもない**

天野 涙

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ノンカピスコ・懺悔の値打ちもない

### 【Zコード】

Z0267E

### 【作者名】

天野 泪

### 【あらすじ】

大学の職員の祐子は、同じ職場の若い直哉と一夜をともにして、妊娠してしまうが？？？

朝10時、郵便局近くの喫茶店で待ち合わせ。郵便局に行くのを口実に、職場を抜けてきた。窓際の席に直哉が座つてゐる。

顔が強ばつてゐる。

『お待たせ。』

私は前の席に座つた。直哉は思い詰めた顔をしてゐる。この男はいつもそうだ。  
しかし私は知つてゐる、それがポーズだと言つ事を。

『あの～、話つて何ですか？』  
訝しげに聞いてきた。

『出来たらしいの。』

『ええ？まさか。』

直哉は驚き、コーヒーを落としそうになる。

あれは3月の下旬、上司が転勤になるとこないので職場で送別会をした夜の出来事。

彼の方から、私を誘つたのだ。

『僕は辛い、死にたい。』と私の上で、何度もこぼした。

しかし・・・死にたい人間が、女の上にのつかかるかね。私は少し冷めた頭で、そう思う。

でも少なからず彼に好意を抱いていた私は、若い彼の欲情を受け入れたのである。

そして・・・新しい命をもらってしまった。

『ねえ、産んでもいい?』

『それは・・・困ります。』

『私、欲しい。あなたの子供・・・。』

口が勝手に動く。彼を困らせるのが楽しい。ざまあみると思つ。悪女を演じる女優のように・・すらすらとせりふが口をつこでる。

『私のこと、好きだつていつてくれたよね。あれは嘘だつたの?』

直哉は、一瞬 たじろぐ

(そんなこと言つましたっけ?)と言つ顔。正直、私も覚えてない  
が・・。

『じめんさい。申し訳ないです。』

ひたすら頭を下げる直哉に、奥底では失望しながらも、  
墮胎する費用の半分を負担させる約束をさせる。

また職場で、毎日のよつに顔を合わせる相手ともめたくない。

(わい・・あと半分びつすつかね?)

そして、昼下がり 違う喫茶店にいた水谷と会つ。

水谷は40代の営業社員。大学に出入りする業者である。  
午前に引き続き、女優になつて、私は水谷に話を切り出す。

『出来たらしいの・・・』

『ええ～？？？』

水谷は、読んでいたスポーツ紙から 思い切り背伸びして顔を出した。

半漁人のような目。こぼれそつ・・・。

『ウツン～。』

『本當。』

水谷はどうでるか、私はさぐる田をして頷いた。

『驚いた。俺にまだそんな余力あつたとは・・・？』

予想に反して、水谷はまんざらでもない様子。

『産んでもいい？』

『うん・・・ええよ。でも大丈夫？』

今度は私の方がたじろぐ。まさか、肯定するとは。何を考えるか、この男。

『ううん、ごめん。やっぱりあなたに迷惑はかけられない。』

『そつか、残念やな。せつかくの命やのに・・・。』

人のいい水谷は、落胆したようにため息をついた。

でもこの男も、ポーズかもしれない。肯定すれば、あきらめると踏んでるのかも。

直哉とは、デキが違う。こなれてる。大人の男の余裕か。

そして数日後、私は中絶手術を受けた。

(ごめん、ごめんね・・・)

わけもなく、涙があふれた。罪深いママを許してねと。

外に出ると、水谷が車で待っている。

『ごめんな、辛い思いさせて・・・』と肩を抱いてくれた。

この男のなま暖かい身体と心が、私はやはり好き・・・と思つ。墮胎の費用半分は、水谷が負担したのだ。父親の欄も水谷の名を書いた。

たぶん、種は直哉だと思うが・・・それも今となつてはどうでもいいこと。

私は、中絶のリスクだけ背負つた。

『ただいま～。』帰宅する私  
『お帰り～。』

そこには、阪神が勝つて『満悦な夫がいた。

罪深いママを許してね・・・何食わぬ顔のそこでそつ吐つ。



(後書き)

これは、ある意味、ノンフィクションです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0267e/>

ノンカピスコ・懺悔の値打ちもない

2010年10月9日07時56分発行